

WEB公開

APAIE2025 デリー大会 《STUDY IN JAPAN 日本合同ブース》

出展団体・資料参加団体アンケート集計結果

回答：ブース出展 12団体中 12団体（回答率：100%）
：資料出展 03団体中 03団体（回答率：100%）

◎大会終了後（2025年05月）にWEBアンケートを実施。

◎実際に参加された教職員の方に回答を依頼。

ブース出展 12団体

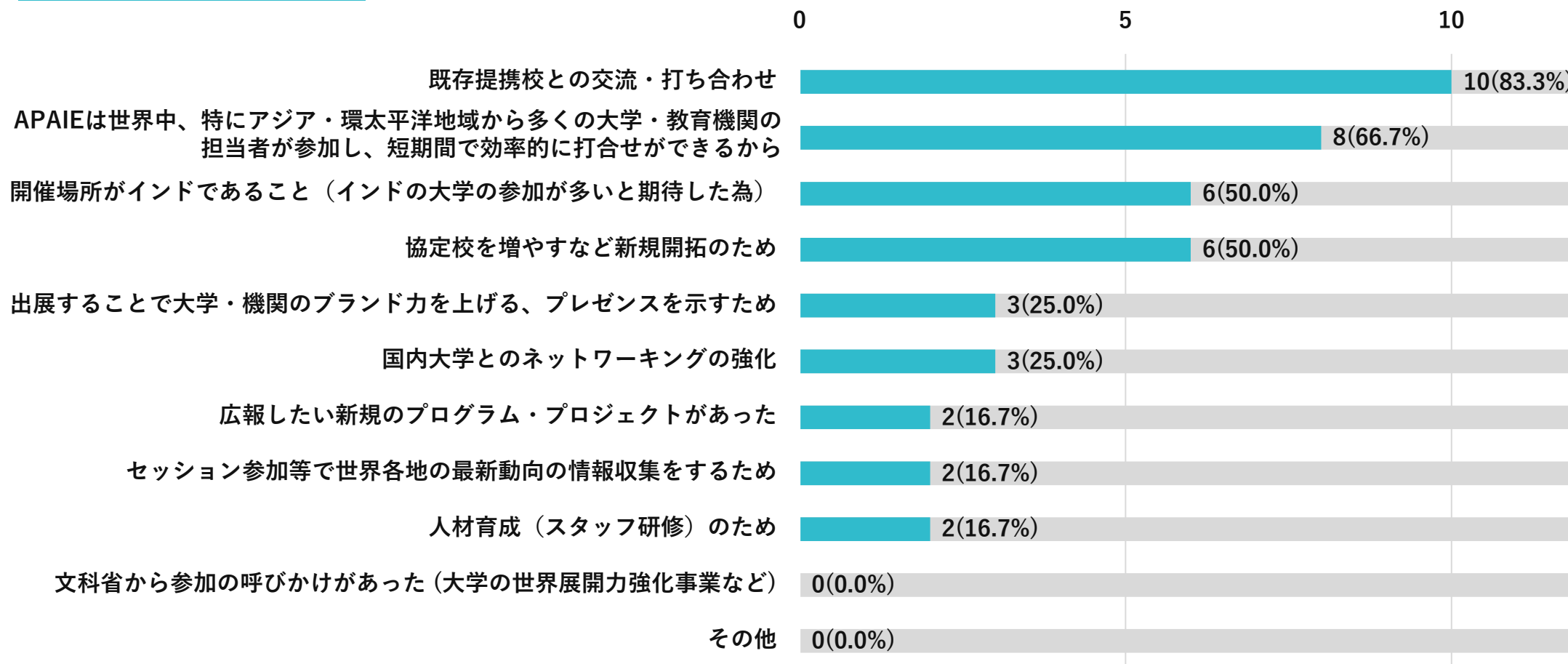
アンケート集計結果

1

APAIE2025デリー大会に出展した理由を教えてください。

1. 出展理由（複数選択可）

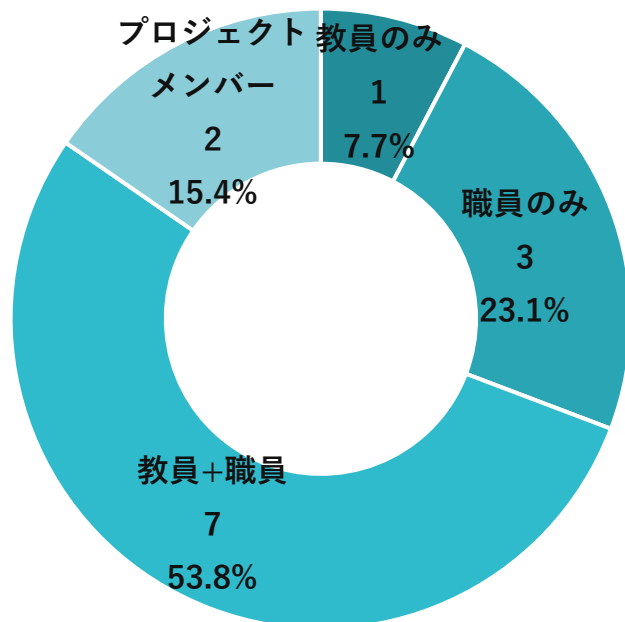
回答数=12



2 ブース対応の出展参加者について伺います。

2-1. 出展者カテゴリー（複数選択可）

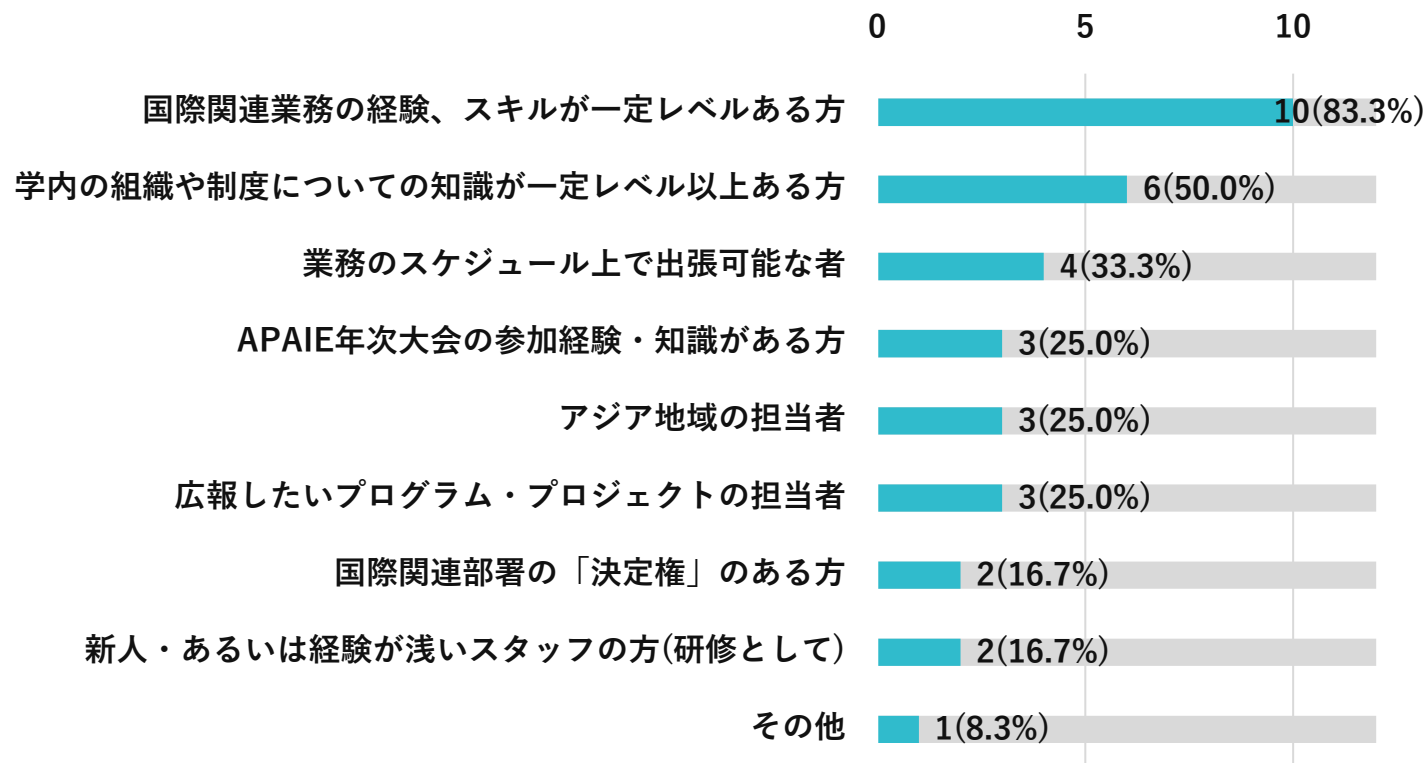
回答数=12



※複数回答可としていたが、単一回答のみのため円グラフにて集計

2-2. 出展者選出の基準（複数選択可）

回答数=12



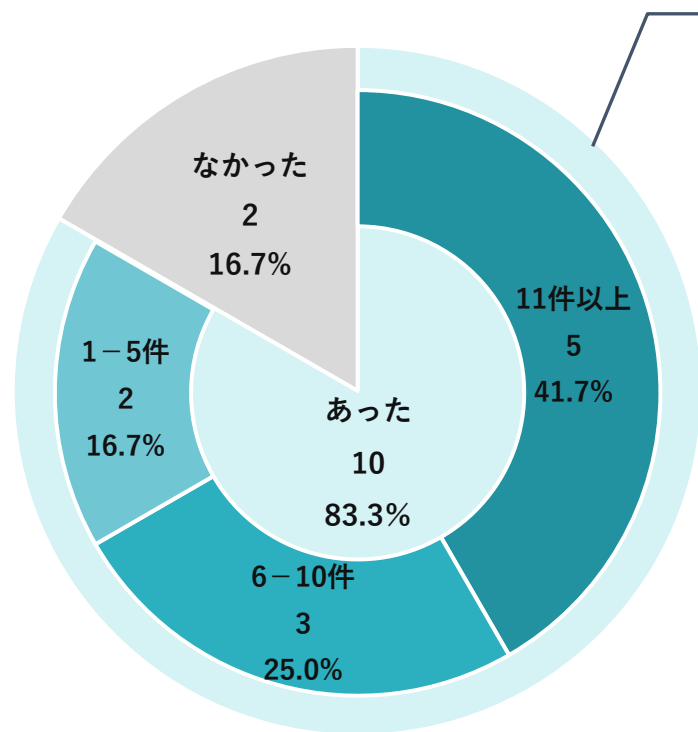
※その他（1） ■ 学生派遣・留学生受入担当部署の教職員

3

対面の大会では、事前のアポイント無しブース訪問が生まれやすいと思います。
貴学ブースでも「飛び入りの打合せ」がありましたか。

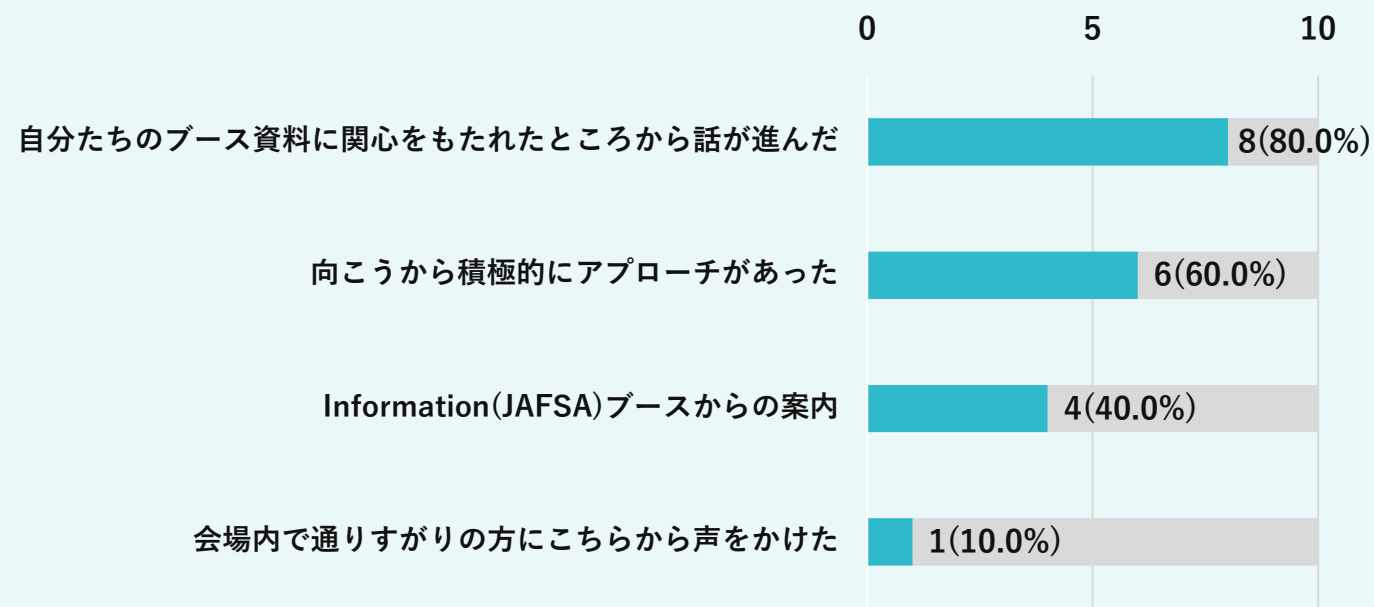
3-1. 飛び入りの打合せ件数（単一選択）

回答数=12



3-2. 打合せのきっかけ（複数選択可）

回答数=10

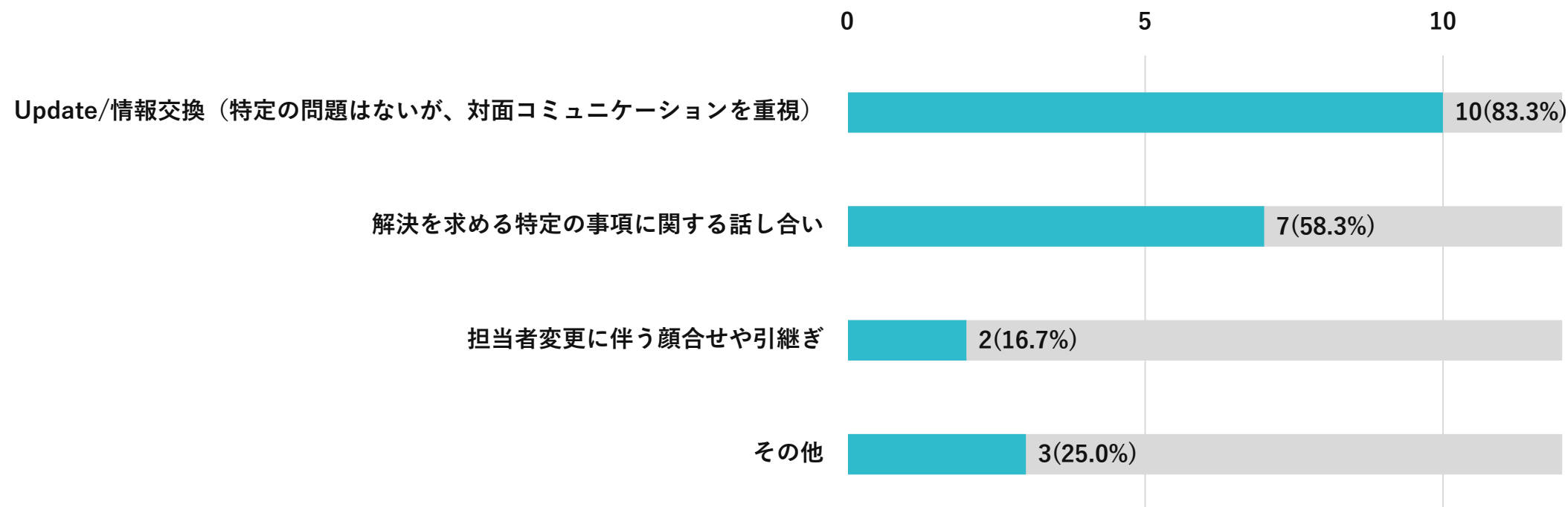


4

既存の協定校とは、どのような打合せをされましたか。

4. 既存協定校との打合せ内容（複数選択可）

回答数=12



※その他（3）

■ 新しい短期派遣プログラムの紹介

■ 高等教育機関ではないので、「協定校」はなし。

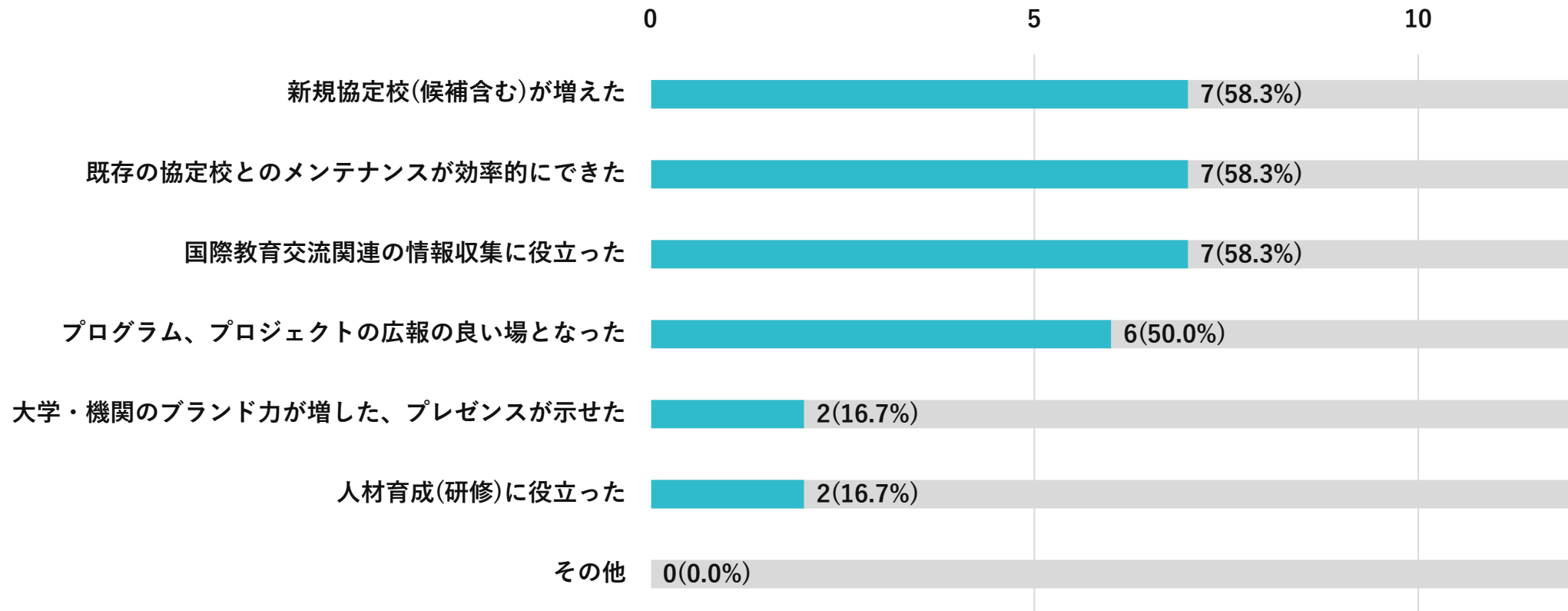
■ 打ち合わせはなかったです

5

出展した成果について教えてください。

5-1. 出展成果（複数選択可）

回答数=12



5

出展した成果について教えてください。

5-2. 成果の具体的な内容（自由記述）

回答数=7

- 協定校候補になりそうな大学と繋がりができた。
- インドの大学との関わり方を模索しており、大学の情報を得るいい機会になった。短期派遣プログラムの構成において、国内大学職員から知見を得ることができた。
- 1. 協定締結に向けて活発にやり取りしている候補校が複数校存在する。
2. 国際教育のトレンドについて情報収集ができ、帰国後報告を行い今後学内のFDに繋がる可能性が生まれた。
3. 今まで提携の少なかったインド地域の情報収集および提携の可能性が生まれた。
- これまでAPAIE・NAFSAで出展されなかったブータンやスリランカの学校機関と情報交換ができた。
- 「大学の世界展開力強化事業～グローバルサウスの国々との大学間交流形成支援」の申請に向けて、協定校候補となるインドの大学を訪問することができた。
海外の大学担当者との意見交換の中で、英語で学位が取得できる学士課程及び修士課程のプログラムのニーズを肌で感じることもできた。
- 想定していたよりも様々な大学から協定の申し込みがあり、本学の潜在的需要の高さを再認識出来た。
- 新規協定校案件が2件発生した。

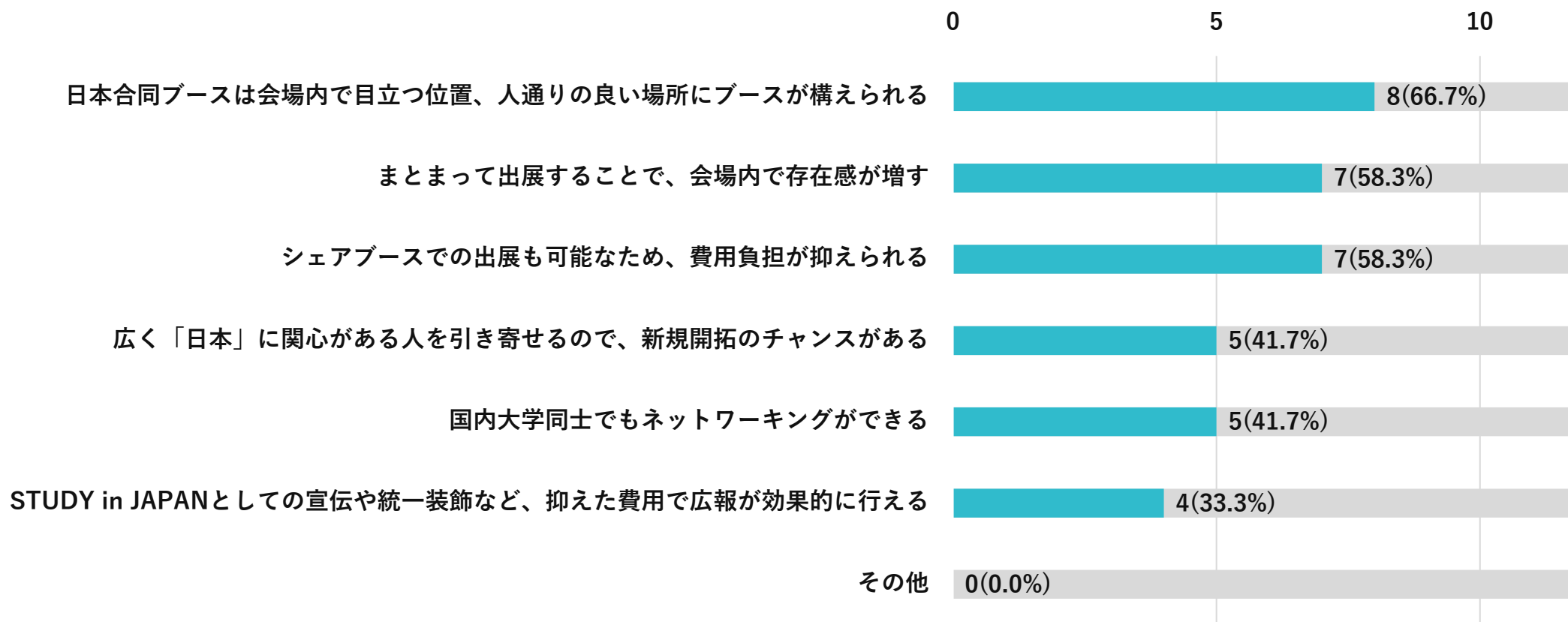
6

単独ブース(1大学のみで出展)でなく、

「日本合同ブース」で出展するメリットをどこに強く感じますか。

6. 「日本合同ブース」出展のメリット (3つまで選択可)

回答数=12



APAIE2025デリー大会に

参加された感想や出展に関するご意見などをお聞かせください。

9. APAIE2025の感想・意見（自由記述・抜粋）

- 本大会ではインドの土地の雰囲気に限らず、諸外国の興味関心・日本の需要等の情報を得ることができました。また、国内にいても中々交流することができない国内大学の国際担当者と事務的な話をすることができ、本学の国際化においても新たな可能性を感じました。
ブース出展においては、JAFSAの方々に手配していただいたため参加準備から大会終了までスムーズに遂行することができ、大変ありがたく感じております。Study in Japanブースに出展することで他大学とも気軽に交流することができ、更なる情報収集に繋がりました。
- 日本パビリオンは、桜の装飾とパビリオンを囲むトップの「和」を強調したデザインも目立って足を止める来場者が多く、素晴らしかったと思います。ただ、打ち合わせ等で長い時間無人のブースが散見され、少し閑散とした印象を出していた気がします。また、紙ベースの資料は敬遠される傾向があり（紙資料をお渡ししても写メをとって置いていかれる人多数）、印刷をやめて、QRコードの表示で事足りるのではという印象を受けました（パビリオンの案内は除く）。
- ・ブース設置が遅延して日本ブースの前日準備が何もできなかったこと、キャンパスツアーの時間変更がありキャンセルせざるを得なかったことなど、大会主催者側の不備が多くあった。
・日本からの出展大学が少なかったのは残念であったが、逆に日本に興味ある大学から多くの飛込み訪問があった。
- アジア圏の大学及びアジア圏の国際交流協定に関心がある世界中の大学担当者と一度に会うことができるため、費用対効果が高い。APAIE自体の参加大学だけでなく、ブース出展大学が事前にわかると、ミーティングのアポイントメントを立案しやすい。ブースを出展することで自大学のプレゼンスが増すことのメリットを大いに感じたが、予算に制約があるため、ブース出展料が低価格だとより一層出展しやすい。

資料出展 3団体

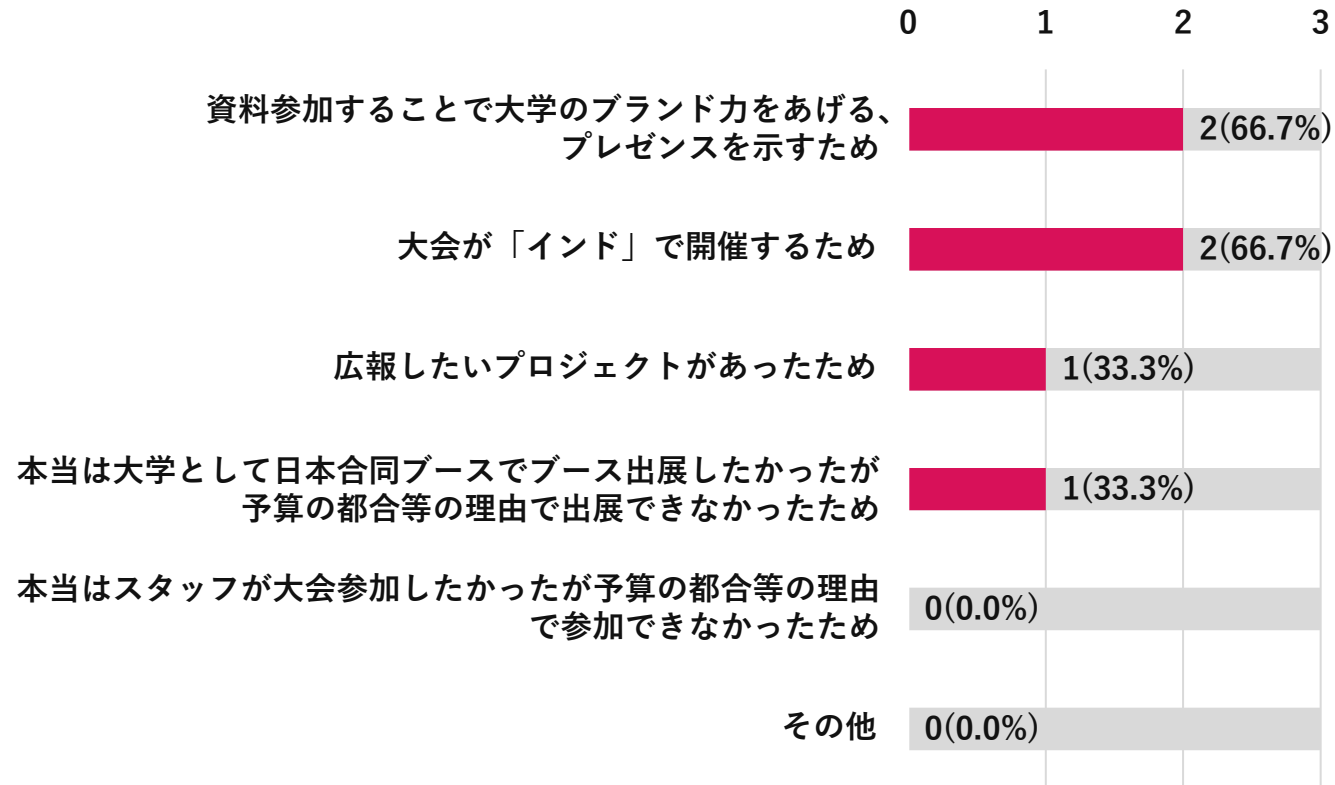
アンケート集計結果

1

- ・ APAIE2025デリー大会に資料参加した理由
- ・ 資料参加費用(8万円 ※送料込)について教えてください。

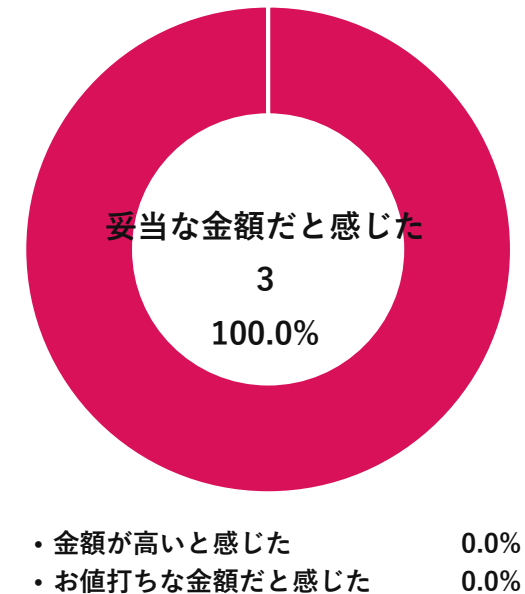
1-1. 参加理由（複数選択可）

回答数=3



1-2. 費用の感想（単一選択）

回答数=3

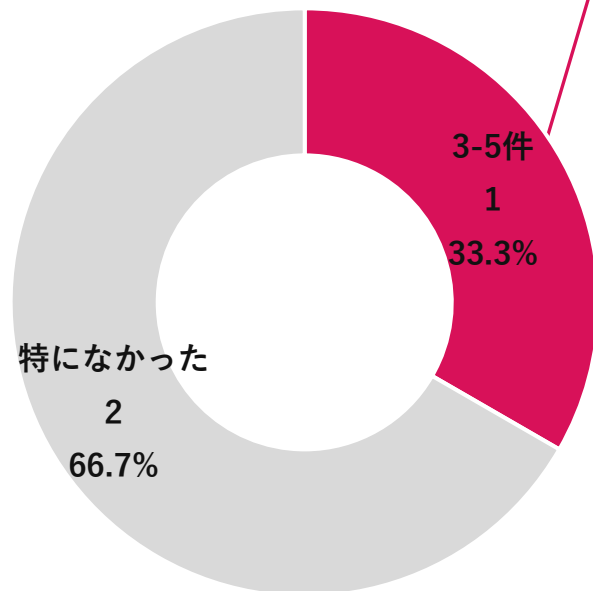


2 APAIE2025デリー大会のあと、貴学へ問い合わせはありましたか

2-1. 問い合わせの件数（単一選択）

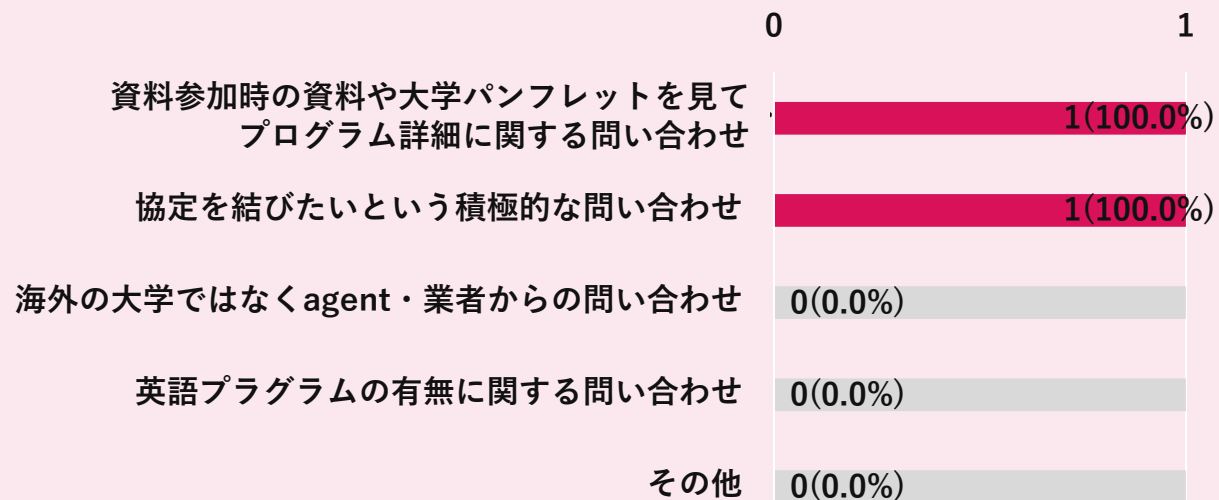
- 1-2件 0.0%
- 6-9件 0.0%
- 10件以上 0.0%

回答数=3



2-2. 問い合わせの内容（複数選択可）

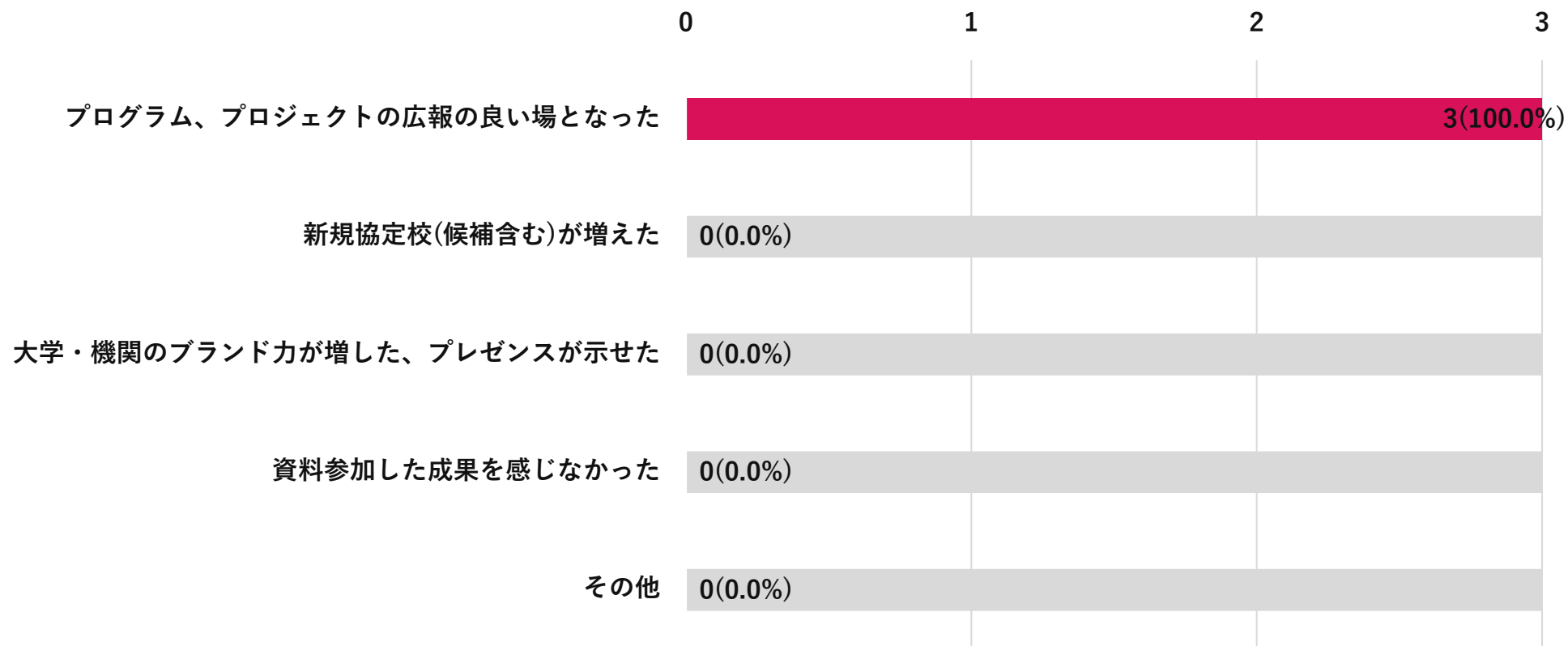
回答数=1



3 資料参加した成果について教えてください。

3. 参加の成果（複数選択可）

回答数=3



- ・ APAIE2025デリー大会資料参加の感想、改善点、ご意見など
- ・ APAIE2026香港大会の参加予定 について教えてください。

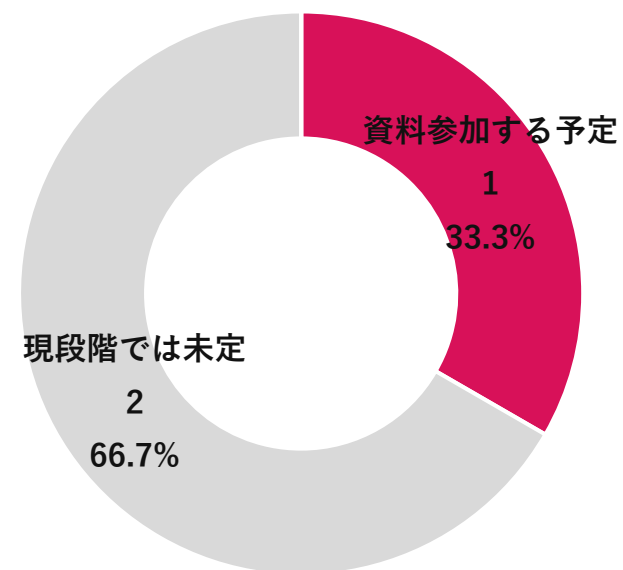
4-1. APAIE2025の感想・意見（自由記述）

回答数=3

- 資料参加とともに、会場でどの大学が本学に興味があるのか教えていただくことができました。また、本学の強みも共有させていただくことができました。ご支援いただきまして、大変ありがたく存じております。
- 国際化・展開に前向きな大学であることを示す意味がある反面、その後の交流につながる具体的な連携の話までは至ることが少ないため情報提供の方法を考える必要があるかもしれない。
APAIE、NAFSA、EAIE等の国際教育年次大会に初めて参加する大学は資料参加を足がかりに大学のプレゼンスを向上させることが可能だが、数回出席の経験を経た後は、直接、ポテンシャルパートナーになる大学に連絡して情報を交換する方がよいかもしれないと感じている。
- NAFSA2025大会では（JAFSAが）シェアブース参加とのことでしたが、今後はできればフルブースでご参加いただけると嬉しいです。
（※JAFSAがシェアブースのためNAFSA2025では資料参加募集を断念した）

4-2. APAIE2026出展予定（単一選択）

回答数=3



- ・ 資料参加しない予定 0.0%
- ・ 日本合同ブースでブース出展を検討したい 0.0%

※回答時点での予測、希望